

宍粟市

子育て支援に関するアンケート結果

1 調査の目的

「第2期宍粟市子ども・子育て支援事業計画」策定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者の方を対象に、子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況等を把握するために本調査を実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：宍粟市全域
- 調査対象者：宍粟市内在住の「就学前児童」のいる世帯・保護者（就学前児童用調査）1,174人
宍粟市内在住の「小学生」のいる世帯・保護者（小学生用調査）1,435人
- 調査期間：平成31年2月1日（金）～平成31年2月15日（金）
- 調査方法：住民基本台帳をもとに対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送配布・回収

3 回収結果

アンケート種別	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童用調査	1,174 票	544 票	46.3%
小学生用調査	1,435 票	697 票	48.6%

4 調査結果（速報）の見方

- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

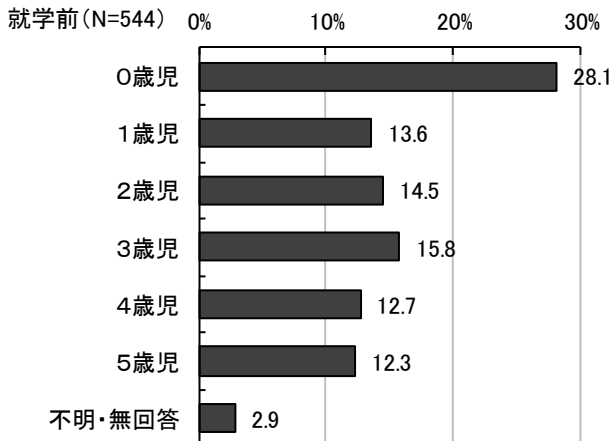
1. 家族構成や保護者の就労状況について

○お子さんの年齢は、以下のとおりです。

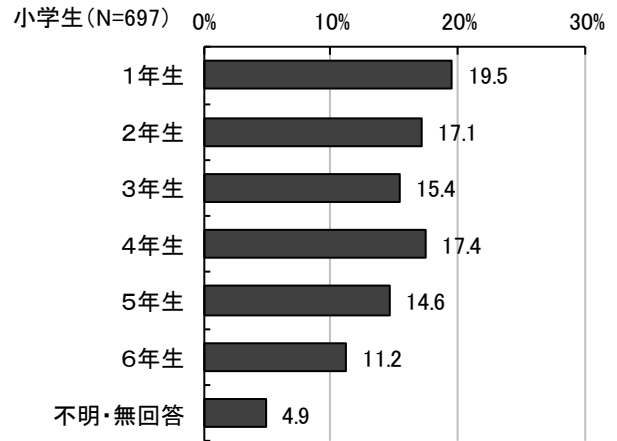
○お子さんの人数は、「2人」が最も高くなっています。

○回答者の9割前後に配偶者がいますが、小学生では、1割程度に配偶者がいません。

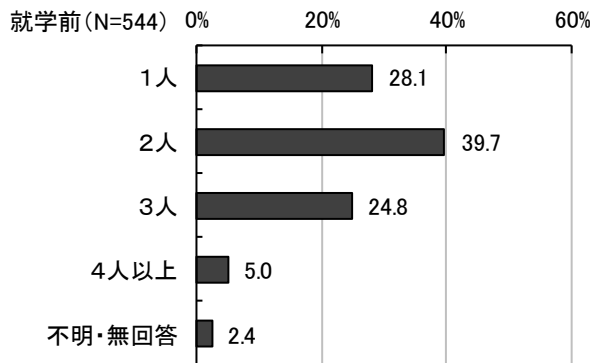
■お子さんの年齢〔就学前：問2〕



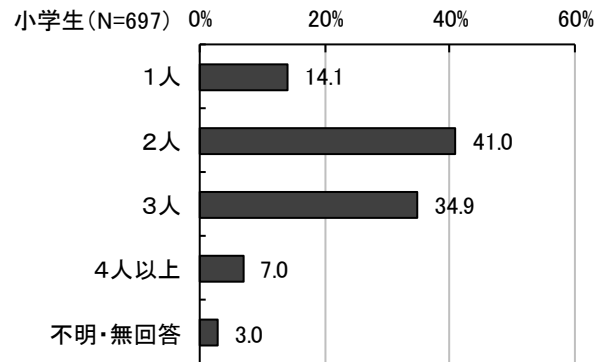
■お子さんの年齢〔小学生：問2〕



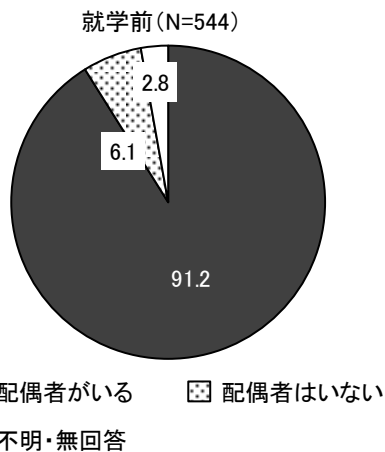
■お子さんの人数〔就学前：問3〕



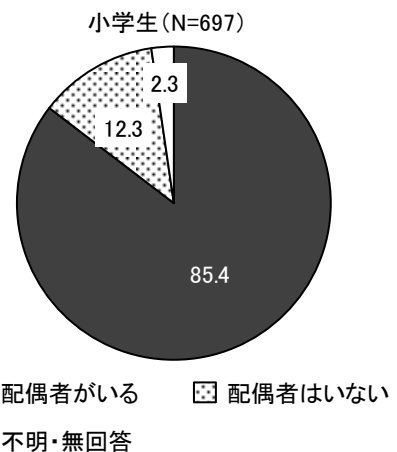
■お子さんの人数〔小学生：問3〕



■配偶者の有無〔就学前：問5〕



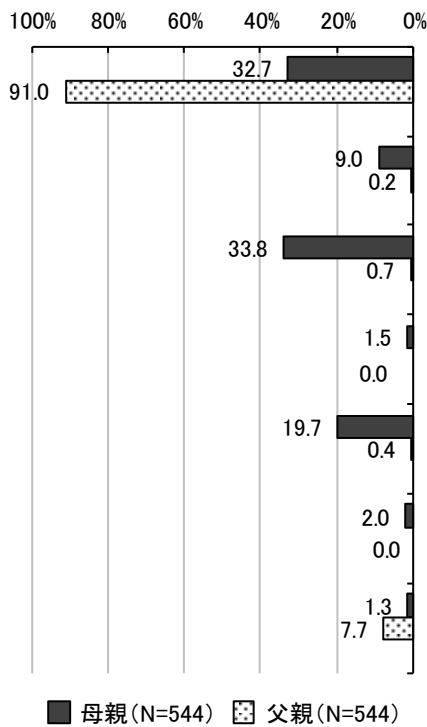
■配偶者の有無〔小学生：問5〕



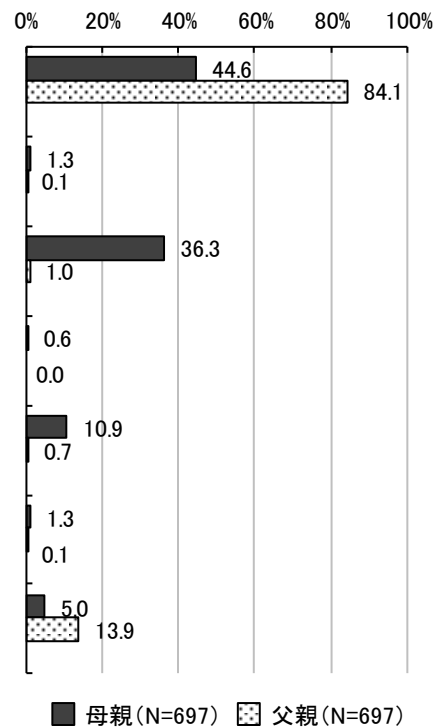
○現在の就労状況について、父親は9割前後がフルタイムで働いています。母親は小学生よりも就学前の方が「以前は就労していたが、現在は就労していない」が高くなっています。

○パート・アルバイトの方のフルタイムへの転換希望について、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が高くなっています。

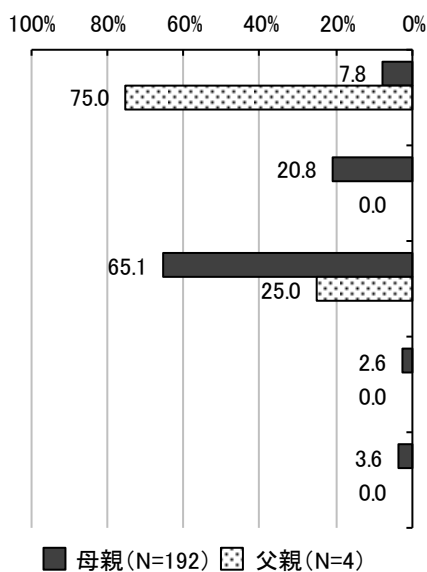
■現在の就労状況〔就学前：問 11〕



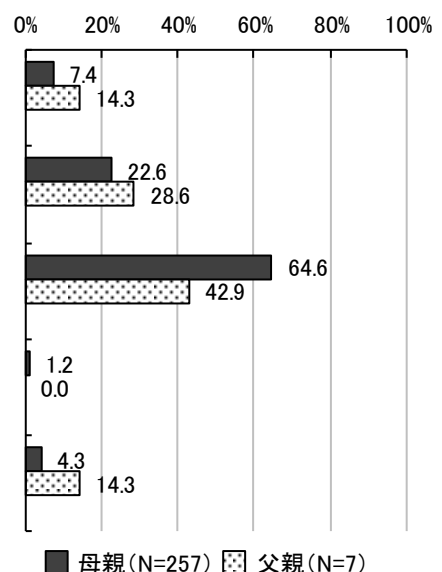
■現在の就労状況〔小学生：問 11〕



■パート・アルバイトの方のフルタイムへの転換希望〔就学前：問 11-1〕

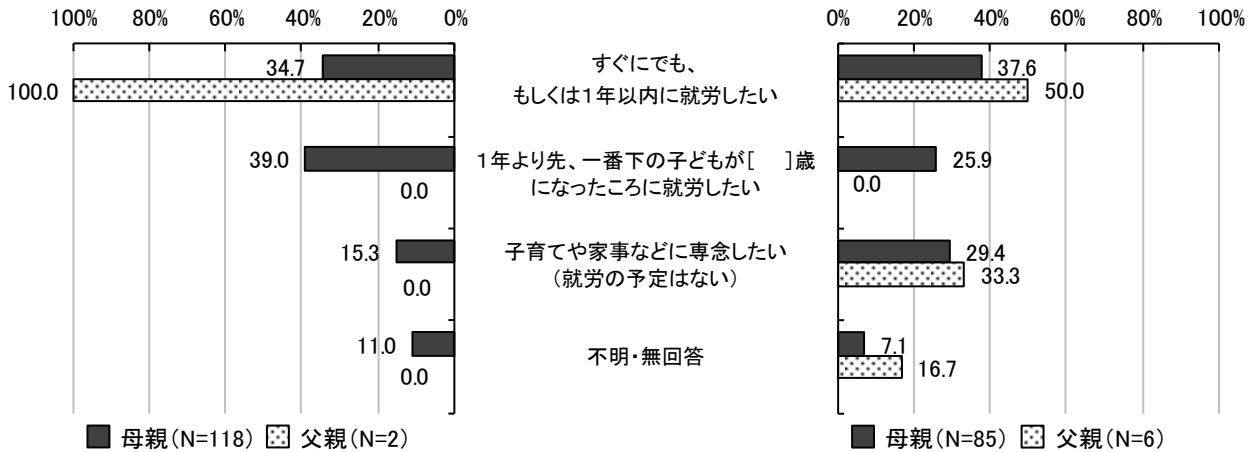


■パート・アルバイトの方のフルタイムへの転換希望〔小学生：問 11-1〕



○現在、またはこれまで就労していない方の就労希望は、就学前の母親は「1年よりも先、子どもが何歳かになったところに就労したい」が高くなっています。

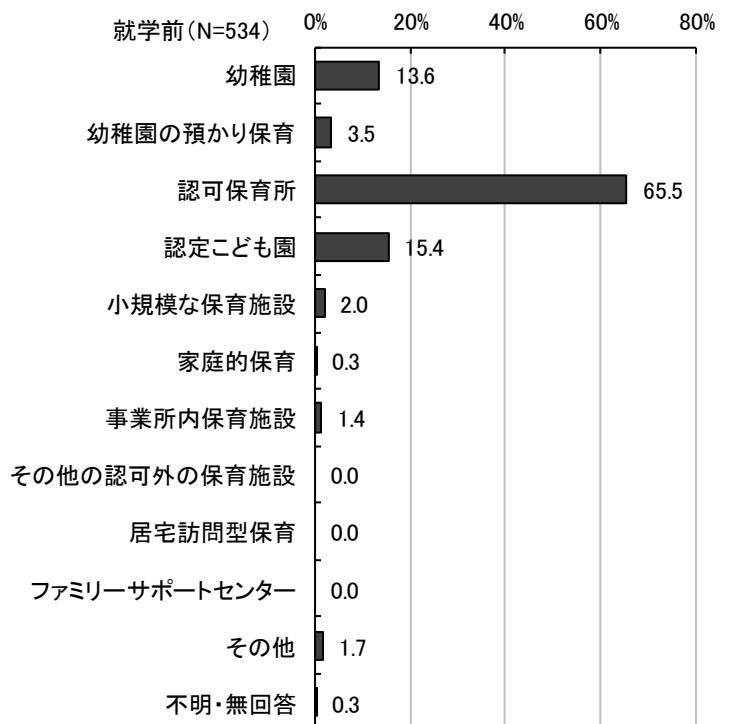
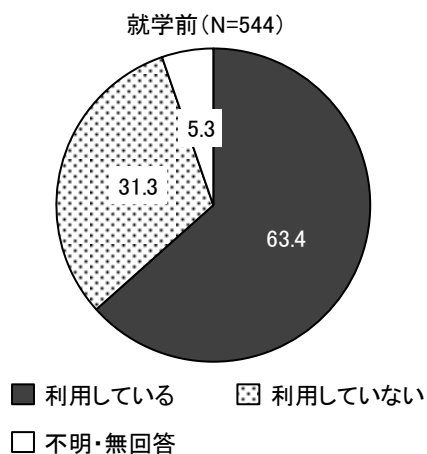
■現在、またはこれまで就労していない方の就労希望〔就学前：問 11-3〕 ■現在、またはこれまで就労していない方の就労希望〔小学生：問 11-3〕



2. 定期的な教育・保育事業の利用について

○幼稚園や保育所等を定期的に利用している人は、6割を超えています。
○利用している教育・保育事業について、6割以上が「認可保育所」を利用しています。

■定期的な幼稚園や保育所等の利用〔就学前：問 12〕 ■利用している教育・保育事業〔就学前：問 12-1〕



○今後定期的に利用したい事業は、いずれの年齢も「認可保育所」が最も高くなっています。

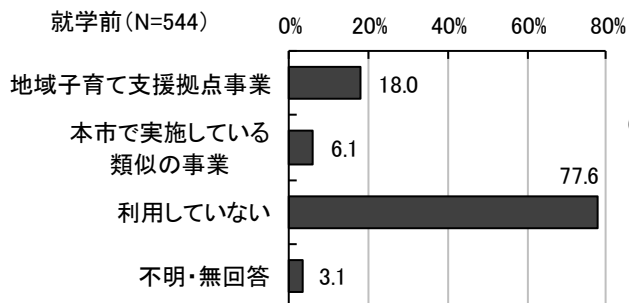
■【幼児教育・保育無償化の場合】定期的に利用したい事業〔就学前：問 13〕

対応日数	0歳 (N=153)		1歳 (N=227)		2歳 (N=306)		3歳 (N=392)		4歳 (N=461)		5歳 (N=528)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
幼稚園	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	3.1	39	8.5	52	9.8
幼稚園の預かり保育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	1.5	15	3.3	15	2.8
認可保育所	19	12.4	52	22.9	88	28.8	125	31.9	128	27.8	139	26.3
認定こども園	8	5.2	25	11.0	38	12.4	71	18.1	87	18.9	113	21.4
その他の認可外の保育施設	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小規模な保育施設	0	0.0	5	2.2	3	1.0	2	0.5	1	0.2	1	0.2
家庭的保育	1	0.7	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
事業所内保育施設	0	0.0	3	1.3	3	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
居宅訪問型保育	0	0.0	1	0.4	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ファミリーサポートセンター	0	0.0	1	0.4	1	0.3	1	0.3	1	0.2	1	0.2
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
利用したい事業は特にない	9	5.9	12	5.3	13	4.2	4	1.0	1	0.2	1	0.2
不明・無回答	115	75.2	127	55.9	159	52.0	171	43.6	189	41.0	206	39.0

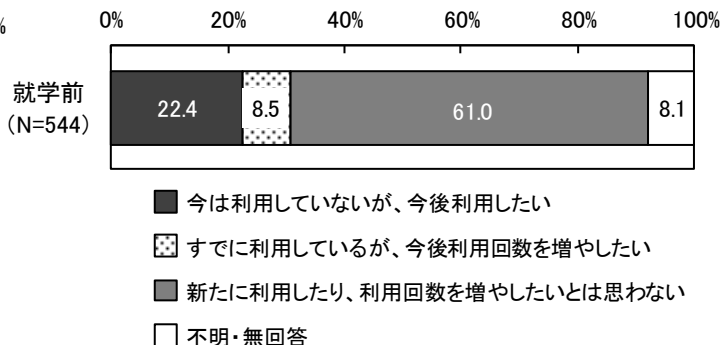
3. 地域子育て支援拠点事業について

○地域子育て支援拠点事業を利用している人は約2割、今後利用したい、または今後利用回数を増やしたい人はあわせて約3割となっています。

■地域子育て支援拠点事業の利用〔就学前：問 14〕



■地域子育て支援拠点事業の利用意向〔就学前：問 15〕

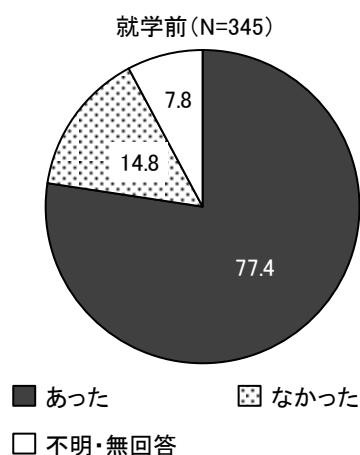


4. 病児保育や不定期の事業について

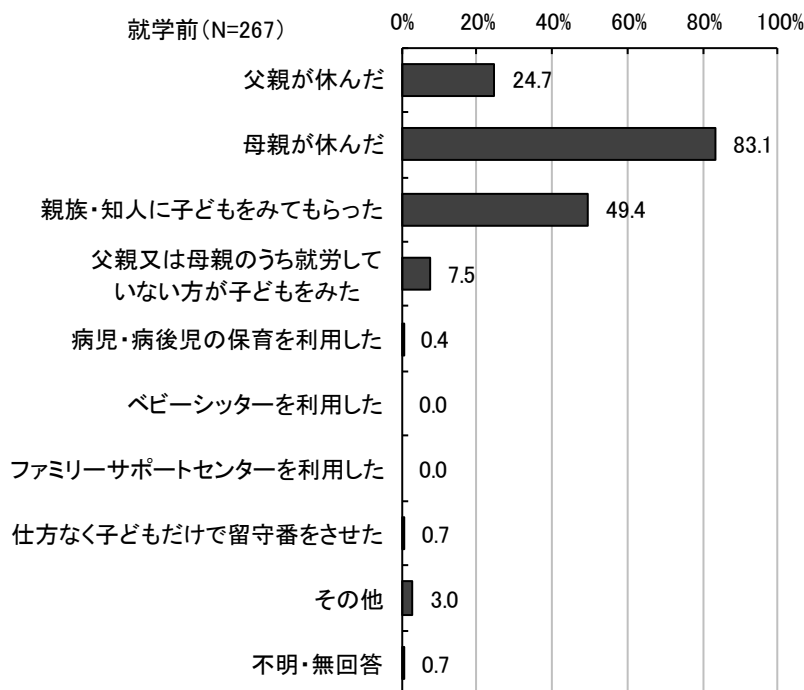
○病気やけがで、保育所等の通常の利用ができなかったことがあった人は、約8割となっています。

○病気やけがの際の対応として、「母親が休んだ」が最も高くなっています。

■病気やけがで、保育所等の通常の利用ができなかったことの有無〔就学前：問19〕

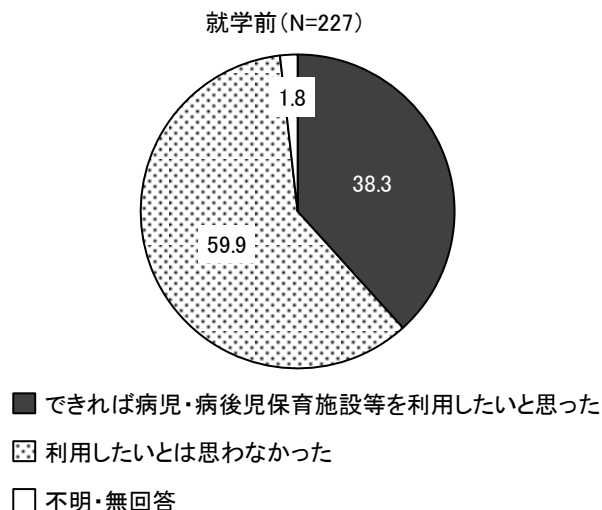


■ 1年間の対応〔就学前：問19-1〕



○「病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が約4割となっています。

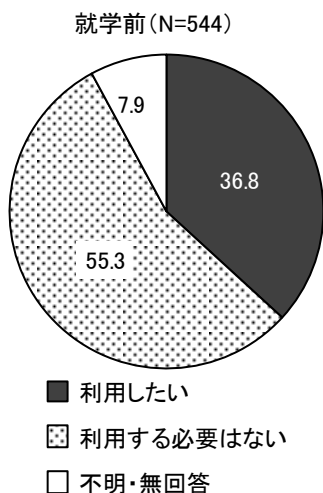
■「病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思ったか〔就学前：問19-2〕



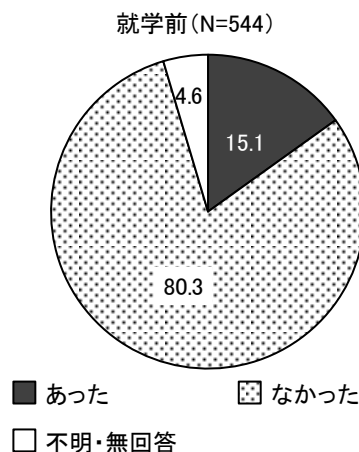
○私用や通院、不特定の就労などの目的で、お子さんが不定期に利用する事業について、「利用したい」人は3割を超えています。

○この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気等の保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわないといけないことはあったかについて、「あった」人は1割程度となっています。

■ 不定期に利用する事業の利用意向
〔就学前：問 21〕



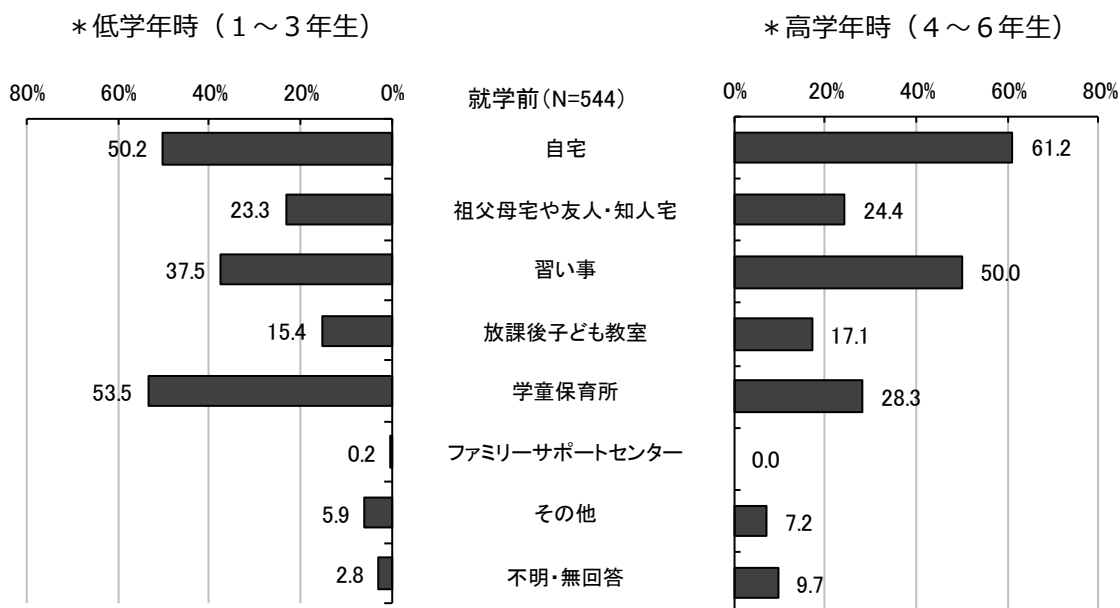
■ 泊まりがけで家族以外にみてもらわないといけないことがあったことの有無〔就学前：問 22〕



5. 放課後の過ごし方について

○放課後に過ごさせたい場所について、低学年時（1～3年生）では「学童保育所」、高学年時（4～6年生）では「自宅」が最も高くなっています。

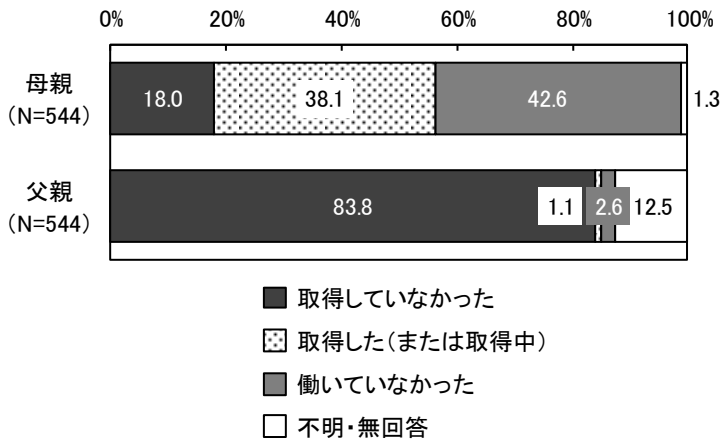
■ 放課後に過ごさせたい場所〔就学前：問 23〕



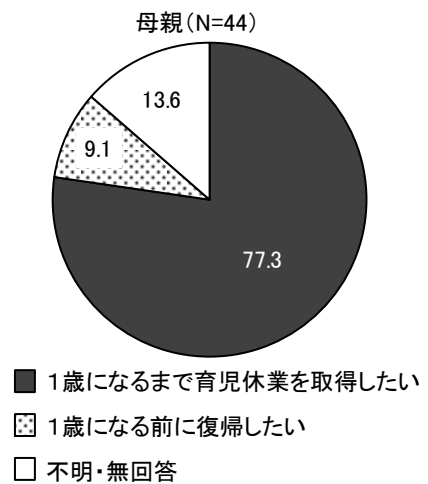
6. 育児休業など職場の両立支援制度について

- お子さんが生まれたときに育児休業を取得した人は、母親で4割程度となっています。
- お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親の8割程度が1歳になるまで取得したいと回答しています。

■ 育児休業の取得状況〔就学前：問 25〕



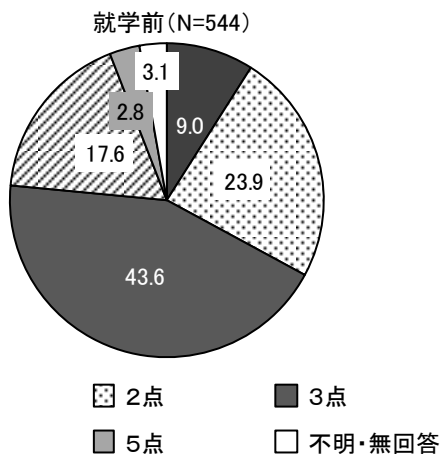
■ 1歳になるまで取得するか〔問 25-6〕



7. 子育て全般について

- 宍粟市の子育て環境や支援への満足度については、就学前、小学生ともに3点が最も高く、1～2点はあわせて3割、4～5点はあわせて2割となっています。

■ 子育て環境や支援への満足度〔就学前：問 26〕



■ 子育て環境や支援への満足度〔小学生：問 21〕

